

A	すぎます
AN	
V	

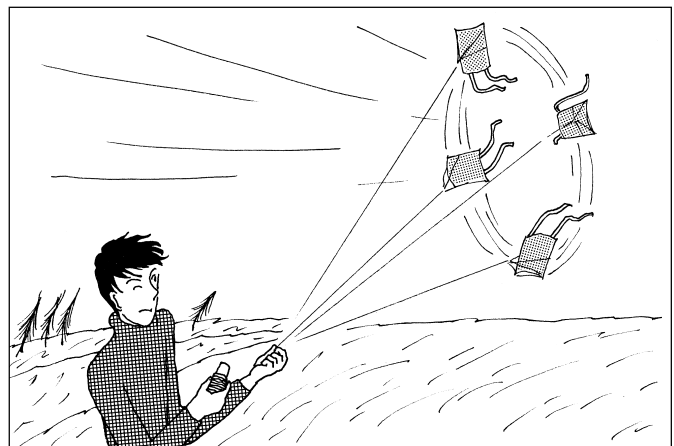
A: A 辞

V: V ます

基 本

例 文

- ① 宿題が多すぎます。減らしてください。
- ② 今日は、風が強すぎて、凧がうまくあがりません。
- ③ わたしの学校の規則は、ちょっときびしすぎるとおもいます。
- ④ このゲームは、ルールが複雑すぎて、おもしろくないです。
- ⑤ 昨日、サッカーの練習をしすぎました。足が痛いんです。
- ⑥ 食べすぎました。おなかが苦しいです。
- ⑦ (Bがあくびをしている)
 A: どうしたんですか。寝不足ですか。
 B: ええ、昨日、夜遅くまで遊びすぎました。



例文②

A. A / AN / Vで表されることが過度^{あらか}でありよくない^{かど}と思っている^{おも}ことを表す^{あらわ}。(例文①～⑦)

先生へ

「A / AN / Vすぎます」の否定^{ひてい}の形^{かたち}は二通り^{ふたとお}あり、意味^{いみ}が違^{ちが}うので注意^{ちゅうい}すること。

ひてい かたち 否定の形	かつようけい 活用形	いみ 意味
A / AN / V <u>すぎではありません</u>	A : A 辞 V : V ます	A / AN / V が過度 ^{かど} ではない ^{あらわ} ということを表す。
A / AN / V <u>なさすぎます</u>	A : A 辞 AN : AN じゃ V : V ない	A / AN / V ではない ^{かど} ことが過度 ^{あらわ} であることを表す。

例1 ^た食べすぎない^{いた}てください。おなかが痛^{いた}くなりますよ。

2 ^{あとうと}弟は掃除^{そうじ}しなさ^かすぎます。1ヶ月^{かげつ}に1回^{かい}しかしません。

「おもしろい、楽しい、おいしい、便利^{べんり}」などプラス評価^{ひょうか}の形容詞^{けいようし}の場合は、意味^{いみ}合^あいが違^{ちが}うので練習^{れんしゅう}のとき使^{つか}わないこと。

【関連項目】

【「れんしゅう編」の練習】

14-8 たいへんな一日